

## ◎景気ウォッチャー調査[2022年2月]

### 2022年2月の中国地域調査結果の概況

#### ■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を2.1ポイント上回る36.6となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「新型コロナウイルスの影響による巣籠り需要で売上が良い。」(スーパー)の理由から、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を1.0ポイント上回る31.0となった。

企業動向関連は、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「現状は良くなっているが、ウクライナ危機により受ける影響を注視している。」(化学工業)、「工作機械業界の客先からの受注が増加しており、納期対応のため超過勤務を行っている。」(金属製品製造業)等の理由から、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を3.8ポイント上回る50.8となった。

雇用関連は、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「2月は転職が集中する時期のため、人材紹介の登録者数は改善している。しかし、新型コロナウイルスの第6波の影響から、登録者層は在職中の人が増えている。転職のために安易に離職をする人は減少傾向である。」(民間職業紹介機関)の理由から、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を4.9ポイント上回る47.1となった。

	2月	1月	前月差
合計	36.6	34.5	2.1
家計動向関連	31.0	30.0	1.0
企業動向関連	50.8	47.0	3.8
雇用関連 (参考値)	47.1	42.2	4.9

#### ■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を3.2ポイント上回る48.2となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなる」の回答の割合が減少し、「季節が良くなる2~3か月後は、現状のまま新型コロナウイルスの新規感染者数が推移しても、客にある程度の購買意欲は出てくる。今月が底であると考え。」(百貨店)、「新型コロナウイルスオミクロン株の終息と3回目のワクチン接種の効果で景況感が戻る。企業の周年祝賀会などの先行受注が入ってきており、先延ばしになっていた企業、団体の宴席などの復活が期待できる。」(都市型ホテル)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を3.9ポイント上回る48.3となった。

企業動向関連は、「やや悪くなる」の回答の割合が減少し、「今後も繁忙期が続く。」(輸送用機械器具製造業)、「客からの受注が増えている。」(輸送業)等の理由から、「良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を3.0ポイント上回る49.2となった。

雇用関連は、「やや良くなる」の回答の割合が減少し、「新型コロナウイルス感染症の終息を期待して、宿泊業や飲食サービス業で求人数は増加傾向にあるが、新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大で今後の動向が大いに心配される。」(職業安定所)、「新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしている。また、原油高、半導体不足、ウクライナ情勢等、不安定要素が多い状況となっており、景気回復は難しい。」(その他雇用の動向を把握できる者)等の理由から、「やや悪くなる」の回答の割合が増加したため、前月を1.3ポイント下回る45.6となった。

	2月	1月	前月差
合計	48.2	45.0	3.2
家計動向関連	48.3	44.4	3.9
企業動向関連	49.2	46.2	3.0
雇用関連 (参考値)	45.6	46.9	-1.3